

編集後記

本誌の趣旨は「刊行のことば」で述べられているので、ここでは繰り返すことはやめたいと思います。ただ山田前所長の論文の掲載について、強引にお願いしたことのお詫びは、ここでもあらためて申し上げなければならないと思っております。先生はお人柄からいって、このようなかたちでの論文の掲載は、けっしておよろこびにならないわけですが、編集子は、「先生の論文をいただかないと、別冊のページをうめることができない」ということまでもちだして、とうとうお許しを得ることに成功したのが実情です。しかしこのようなかたちでありながら、まとめられた論文を読んでもみますと、この強引なお願いは読者のかたがたにとっても、よいプレゼントになったのではないかと考えているしだいです。

ふりかえてみますと、山田先生の8年間の在任は、研究所の発足から基礎がための段階ともいうべき期間でありましたが、本研究所に何とかまとまりができ、いささかでも社会保障の研究に貢献できたことがあるとすれば、それはひとえに先生の身をもって示された研究の進め方と、先生の温いお人柄によるものと思います。幸い先生は所長の職をしりぞかれましたが、顧問として研究所に関係されていますし、週に1回は私どもの研究会にほとんど欠かさず出席され、変らぬ御指導をいただいているしだいです。

なお私ども研究所員のなかから先生の退任記念特集号を刊行する必要があるということで、現在この計画が着々すすんでいますことを、この機会に御報告させていただきます。

(F・M)

別冊 季刊 社会保障研究

昭和48年7月10日 発行

編集兼発行所

社 会 保 障 研 究 所

東京都千代田区霞が関3丁目3番4号

社会事業会館内 電話 (580) 2511

製 作 所

財団法人 東京大学出版会

東京都文京区本郷7丁目3番地の1 東大構内

電話 (811) 8814